

例会日：毎週木曜日 12 時 30 分
 例会場：岐阜県郡上市八幡町小野 67(八幡建設 2F)
 TEL (0575) 67-0314 FAX (0575) 67-0005
 E-mail: rc-8man@abeam.ocn.ne.jp
 URL: http://gujohachiman-rc.com/

会 長 : 三原慎也
 副 会 長 : 野田三津雄
 幹 事 : 西村 肇
 公共イメージ : 松森 薫
 会報担当者 : 田中義久

2023 年度国際ロータリー会長：ゴードン R. マッキナリー (サウス・ウエスト フェリー ロータークラブ・スコットランド)

2023 年度国際ロータリーテーマ：CREATE HOPE in the WORLD (世界に希望を生み出そう)

<本日のプログラム>

第 2857 回 令和 6 年 2 月 1 日 第 1 木曜日
 ガバナー補佐卓話 渡邊 剛ガバナー補佐

<次回の予定>

第 2858 回 令和 6 年 2 月 8 日 第 2 木曜日
 会員卓話 西川 昇会員
 坂本 仁会員

<前回の記録>

第 2856 回 令和 6 年 1 月 25 日 木曜日
 会員卓話 小笠原正道会員
 大川達也会員

司 会 進 行	長尾信幸 SAA
点 鐘	三原慎也会長
ソ ン グ	郡上八幡ロータリーの歌
出 席 報 告	森下 光出席担当責任者

会員数	出席	補正	出席合計	出席率
36 名	31 名	4 名	35 名	97.2%

ニコBOX 國田大雄ニコ BOX 担当責任者

- ・本日の会員卓話 小笠原君、大川君お願いします。
三原慎也
- ・小笠原君、大川君 卓話宜しくお願いします。
西村 肇
- ・久しぶりの卓話ですので上手く話せるか分かりませんが、宜しくお願い致します。 小笠原正道
- ・小笠原君、大川君 卓話宜しくお願いします。
岩尾 誠
- ・新年あけましておめでとうございます。本年も宜しくお願い致します。 河合 修
- ・会員卓話 小笠原会員、大川会員、楽しみにしております。
遠藤一史・平岩あゆみ・平岩憲政・廣瀬泰輔
岩出明喜・可児一彦・川嶋成樹・國田大雄
前田伊三夫・松森 薫・水上成樹・森下 光
村井裕孝・長尾信幸・永瀬和郎・西川 昇
野田三津雄・大川達也・酒井智義・坂本 仁
竹内巧治・田中義久・渡邊 剛・徐 飛
山川直保・山下友幸

幹事報告 西村 肇幹事

<拝受>

- ・関、桑名北、郡上長良川、関中央 各 RC より週報

IDM 報告 竹内巧治会員



議題はロータリー財団、米山奨学会でした。ロータリー財団につきましては、現在一人 100 ドルの寄付をしていますが、数年前から 150 ドルに上げるようにということです。ただ 150 ドルとなると、今のレートだと 2 万円になりますので、これは難しいところもあります。使い道については、調べると色々あり、我々のクラブでも補助金を活用した事業を考えていこうという意見がありました。米山奨学会は、現在日本に年間 900 人の奨学生を受け入れています。当然岐阜県にも何人かは来ますので、また数年後私たちのクラブでも担当することがあるというお話でした。

会長の時間 三原慎也会長



皆さん、こんにちは。先日の大雪で、関ヶ原とかの福井の方では交通がマヒして、名神高速道路では多くの車が立ち往生してしまいました。自衛隊などが出て、今朝の 4 時ぐらいに車が流れるようになったとニュースで言っていました。郡上は風向きなんでしょうか、降雪的にはあまり多くなく、アメダスで長滝を見ても 50 センチくらいということで、西濃よりは少ない雪で今回は無事に過ぎていったという感じでした。大雪と言いますと、私が高校の頃、昭和 56 年だと思いますが、この年

に大雪が降りまして、八幡で1メートル以上降った記憶があります。私の今のお店をまだ新しく作る前で、柱の細い建物だったんですが、雪の重さで中の障子が動かなくなり、屋根に登って雪下ろしをした記憶があります。その時は雪下ろしをやった事がなくて、全部綺麗に雪を下ろしたら、下のトタンが出てきて滑るようになってしまいました。知っている人は多分雪を10センチとか20センチぐらい残して下すんですけど、最初に一気に下しやすい一番低い所を全部下ろしてしまったので、そのあと、そこが滑るようになってちょっと怖い思いをした記憶があります。その時高校生でしたので、次の週に体育の授業があったんですが、一時間雪かきをして終わったのを覚えております。

話は変わりますが、日曜日に商工会主催の講演会が文化センターであって、テレビにも出ている池上彰さんの講演を聴いてきました。元NHKアナウンサーでしゃべることが仕事だったというだけあって、講演の一時間半があつという間に過ぎました。内容は世界情勢のことでしたが、やはり喋りのプロの方の話は面白いなと思いました。その後は四年ぶりに新年異業種交流会が開催されました。コロナでできなかった集まりが、ようやくこのところできるようになってお酒を飲む機会が増えたので、少し体を休ませないといけないなということを思っています。

あと、非常にハプニングなことなんですが、昨日の夜、なんか焦げ臭いなと思ってウロウロしたら、玄関のスポットライトのLED電球が火を噴いていました。破片が下の絨毯に落ちて少し焦げていました。人間こういう時になると、一瞬何をしたらいいかわからなくて、2、3秒止まって、この火を消すには水をかければいいのか消火器でやる方がいいのか、色々瞬間的に考えて、近くにある消化器を持ってきて消しました。火はすぐに消えたんですけど、消火器は一度使うと止まらないので、玄関が消火剤の粉だらけになり、その後の掃除に2時間ぐらいかかってしまいました。埋め込みのライトだったんですが、他のライトを外したら中に埃が溜まっていて、火が出た原因はそれかなと思いました。皆さんも火事には十分気を付けて下さい。

会 員 卓 話 小笠原正道会員



久しぶりの卓話です。ニコBOXへたくさんご投函頂き、ありがとうございます。

それではまず、私共のガソリンスタンドの関係の話です。昔は八幡だけでも10数軒あったんですが、今は高鷲で4軒、白鳥で5軒、大和で3軒、八幡で5軒、美並で3軒、和良で2軒、明宝で2軒と、郡上市内でも24軒になってしまいました。元旦に地震がありましたが、やはり、水道、電気、それと燃料は重要だ

と思います。被災した人が車で暖を取ったり、車の中で寝たりしています。今はこの辺のガソリンスタンドでもほとんど発電機を持っていますので、もし停電しても給油はできます。でも、道路が壊れてタンクローリーが来られないとなると、その時にあるだけの燃料になるので、私たちもできるだけ地下タンクは一杯にしておかないといけないなと思っています。でも、月末になると支払いのこともあるので厳しいところもありますが、もしもの時に皆さんにご迷惑をおかけしないように、できるだけ満タンにしておくようにしています。そして、ガソリンスタンドの元売りも大変大きいところばかりで、私のところは最初は昭和石油、その後に昭和シェル、今は出光になったんですが、元売りもどんどん合併して行って、大きい元売りが更にどんどん大きくなっています。元売りが少なくなると、それだけ燃料の方も高くなるので、私たちの商売もそれだけ厳しくなります。それと、これだけガソリンスタンドが少なくなった一番の問題は、跡取りのことだと思います。うちはどうにか子供たちがやってくれていますが、跡取りの問題と施設の問題、地下タンクをどうするか。今お金をかけて直しても、この燃料が、水素、電気など今は色々な燃料に変わってきているので、まだまだガソリンの需要はあると思いますが、将来的なことを考えると、果たして子供たちに任せていけるのか不安なところもあります。それと、今世界中の色々な所で戦争などが起こっていて、ガソリンの原価が高騰していて、仕入れ価格も上がっています。国としてはガソリンの補助金を出していて、全国平均175円ほどです。この補助金も今年の4月までとなっていますが、これもどうなるかわかりません。ガソリンの補助金というのは、原油価格が高騰し、生活や経済活動に出る影響を最小化するための激変緩和措置として、全国平均ガソリン価格が一定以上になった場合、燃料の元売りに支給されるものです。我々してみれば、ガソリン税を安くすればいいんじゃないかと思うんですが、元売りに補助金が出ていて、今のところはガソリン価格がある程度に抑えられています。ガソリンの補助金というのは、コロナの関係で高騰している原油価格が経済回復の重荷にならないことを目的として、石油元売り、輸入業者に価格上昇を抑える原資を支給して、ガソリンなどの小売価格を抑えることを狙った燃料油価格激変緩和事業の一環です。先ほども言いましたが、ガソリン補助金は、全国平均ガソリン価格が1リットル170円以上になった場合、燃料油元売りに支給する仕組みになっています。支給開始の時には、上限が1リットルあたり35円でしたが、その後は段階的に下げていき、2023年5月に25円になりました。上限を超過した分の2分の1支援は維持しています。それで、政府は2023年の補正予算案で、燃料油価格激変緩和対策事業として1532億円

を計上して、2024年4月までは継続する方針だそうです。でも、これも色々な災害などがあってどうなるかわかりません。そんなわけで、我々も商売として色々考えたりして、それが果たしてどうなのかというのも分からないし、自身の体もどうなるか分かりませんが、どうにかやっていけたらなと思っています。仕事の方も、修理などガソリン以外のことを展開していかなければと考えています。また皆さんにも宜しくお願ひしたいと思います。

あと、私の経験した話ですが、嫁さんが健診に行くというので、私も一緒に行くことになり診て頂いたら、癌が胃の上の方にできていて、これは手術をした方がいいということで、腹腔鏡下手術をしました。これが2017年の11月20日だったので、もう5年くらい経ちました。今は食欲もあり、皆さんと飲んだりする楽しみもあります。飲み過ぎには気を付けたいと思います。そして、これをやってその二年後に、今度は肺の手術をしました。この時はロボット手術という手術をしたんですが、傷が残らないし、回復も早いし、ある程度出血も抑えられるというメリットがあります。この時は、まず歯医者行けと言われ、歯の治療をしました。口の中の菌が肺に入ると炎症を起こすことがあるからです。私も癌になってから思うのが、やはり早期発見が一番大事だということです。皆さんも検診を受けて、健康管理をしっかりして下さい。以上です。ありがとうございました。

会 員 卓 話 大川達也会員



今回、自分自身5回目の卓話になります。内容は職業の話を用意してきましたが、その前に少しだけ今年の正月休みの話をさせていただきます。僕は正月休みは何も予定を入れず、どこにも出かけずに家に籠ってゆっ

くりと過ごしたい派なんです。元日の1月1日だけは毎年必ず行っていることが二つあります。一つ目は、午前0時になってすぐに家の近所の神社と、白鳥の白山長滝神社に初詣に行くこと。そして、二つ目は初日の出を見ることです。初日の出を見る場所は、毎年バラバラで決まっておきませんので、ネット検索や人からの情報を基に、当日の天候や日の出時刻に間に合う距離などを勘案して選んでおります。今年選んだ初日の出を見る場所は、神奈川県は湘南の江ノ島から昇る初日の出でした。当日は、雲一つない絶好の初日の出で、新年早々幸先よく縁起を担ぐことができました。例年でしたら、初日の出を見終わった後はまっすぐ家に帰るのですが、事前のリサーチでこの近辺は箱根駅伝のルートということを知っていたので、初めて現地で生で箱根駅伝を見ました。当日観戦した場所は、東京からスタートし

て市街地を抜け、ちょうど海岸沿いに出るところで、実際にスマホで撮った動画がありますが、この地点では、今回優勝した青山学院がまだ独走状態になる前、2位の駒沢大とバチバチに競り合っていた時で、結果的には今年の箱根駅伝で一番盛り上がった場面で応援することができました。その後は、当然どこにも寄らずにまっすぐ家に帰って、いつも通り家に籠ってのんびりとした正月休みを1月7日まで満喫しました。

では、ここから本題に入ります。前回は、自分の職業である廃棄物について話をしました。内容は、廃棄物と価値のある物の一番大きな違いは、取引の際の物とお金の動きというものでした。おさらいすると、価値のある有価物の取引は、売主のAさんから買主のBさんに物が渡り、反対に買主のBさんから売主のAさんにお金が支払われます。一方、価値のない廃棄物の取引は、持ち主のAさんから引き取り主のBさんに物が渡り、同時に、お金も持ち主のAさんから引き取り主のBさんへ支払われます。整理すると、価値のある有価物の取引は、物とお金が逆方向に動き、価値のない廃棄物の取引は、物とお金が同じ方向に動きます。この、取引に際しての物とお金の動きが、その物が価値のある有価物か価値のない廃棄物かを見分ける一番わかりやすく、かつ一番重要な判断基準です。なので、自分にとっていくら大切な物であっても、それを手に入れる際に前の所有者からその物と一緒にお金まで受け取ったのであれば、自分にとっていくら大切な物であったとしても、場合によっては廃棄物としてみなされてしまうことがあるというのが前回までの内容で、これは日本だけに限らず、どこの先進国、発展途上国でも、全世界に共通する廃棄物の特徴です。

今回の話は、日本だけの日本にしかない廃棄物の特徴で、「廃棄物は2種類に分けられる」という話です。日本の法律では、廃棄物は一般廃棄物と産業廃棄物の2種類に分けられます。この二つの廃棄物、一体何が違うのかというと、廃棄物の形とか大きさとか素材の違いではありません。この二つの廃棄物の違いは、ただ単に廃棄物が出る場所の違いだけです。一般の家庭から出るものは一般廃棄物、一方、仕事で職場から出るものは産業廃棄物になります。例えば、このようなガラスの瓶は、家庭でいらなくなった、あるいは割れてしまったものは一般廃棄物、ガラスを加工する工場などの、職場から出るものは産業廃棄物になります。次に、このようなフライパンやナイフ、フォークといった金属、家庭でいらなくなった物は一般廃棄物、製鉄所や鉄工所などの職場から出るものは産業廃棄物になります。それ以外の品目についても廃棄物が出る場所によって同じように二つに分かれますが、どんな法律でも例外があるように、紙くずと木くずと生もの、この三つの品目の分け方については少しレギュラーな決ま

りがあります。例えば、このような本や書類といった紙くずは、家庭でいらなくなったものは一般廃棄物、紙を作る工場や加工する工場から出るのは産業廃棄物と、ここまでは先ほどのガラスや金属と同様ですが、このような事務所やオフィスなどの仕事場から出る紙くずは、産業廃棄物ではなく一般廃棄物になります。次に、このようなテーブルや家具といった木くずは、家庭でいらなくなった物は一般廃棄物、木工所から出るのは産業廃棄物ですが、こちらも紙くずと同様、このような事務所やオフィスから出る木くずは、産業廃棄物ではなく一般廃棄物になります。次に、生ものや残飯類は、家庭から出るのは一般廃棄物、食品を加工する工場から出るのは産業廃棄物ですが、飲食店やレストランから出る生もの、残飯類は産業廃棄物ではなく一般廃棄物になります。以上のように、物は全く同じであったとしても出る場所の違いだけで廃棄物が2種類に分けられるというのが、よその国にはない日本だけの廃棄物の特徴です。そして、この二つの廃棄物を運んだり処分をしたりするのに必要な免許自体が全くの別物です。一般廃棄物を扱う免許では産業廃棄物を扱うことはできません。逆もしかりで、産業廃棄物を扱う免許では一般廃棄物を扱うことができません。しかしながら、廃棄物を扱う業者は基本的に、一般廃棄物か産業廃棄物どちらか一方の免許しか持っておりません。ちなみに自分の会社も産業廃棄物を扱う免許しか持っておりません。これがもし、一般廃棄物を扱う免許しか持たない業者が産業廃棄物を扱ったり、産業廃棄物を扱う免許しか持たない業者が一般廃棄物を扱うと、それは法律違反に該当し、五年以下の懲役または1000万円以下の罰金という比較的重い罰則が科せられます。しかも、その罰則は免許を持ってない方の廃棄物を扱った業者だけでなく、その業者に依頼をした本人にも及んでしまいます。とはいえこの二つの廃棄物、先ほどもお話しした通り、出る場所によって完全に区別されるので、間違っただけで扱ってしまったとか、間違っただけで依頼をしてしまったなんてことは悪意でもない限りまず起こらないはずなので、廃棄物というのは2種類あって、それぞれ扱いが異なるということだけを頭の片隅に置いて頂くだけで充分だと思います。

本日の内容は、日本の廃棄物の特徴、「廃棄物は2種類に分類される」という話でした。皆様最後までご静聴ありがとうございました。